



静岡銀行

# What's SHIZU-GIN?

第116期 営業のご報告

2022  
June



第14次中期経営計画

**COLORs**

～多彩～

## 地域のお客さまの夢の実現に寄り添う 課題解決型企業グループへの変革

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、3月下旬にまん延防止等重点措置が全国的に解除され、5月には3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークを迎えました。夏場に向けては観光やレジャーを中心に消費活動の活性化に期待がかかりますが、コロナ変異株による感染再拡大やウクライナ情勢の行方、原材料や

燃料、食料品の価格高騰など、さまざまな懸念材料から先行きの不確実性は高まっており、景気失速が憂慮される状況が続いています。

こうしたなか、静岡銀行グループでは第14次中期経営計画「COLORs～多彩～」が最終年度を迎え、中計ビジョンとして掲げる「地域のお客さまの夢の実現に寄り添う 課題解決型企業グループへの変革」の実現に向け、グループ各社の連携強化を図りながら努力を続けています。

2年目となる2021年度の主な取り組みは本誌でお示ししたとおりですが、法人のお客さまに対し、足元の環境変化を踏まえながら、「資金繰り・経営改善」「事業再構築」「本業支援」「事業承継」の4つの切り口からさまざまな事業支援に力を注いだほか、個人のお客さまに対しては、人生100年時代を見据えた資産の形成から管理・承継に至るまでのサポートに加え、住宅取得を起点にライフプラン全般のコンサルティングを行う拠点として静岡県内のローンセンターを「しずぎんライフデザインステーション」に切り替え、相談機能の強化を図りました。

また、足元の課題解決に加え、世界的な社会課題として関心が高まるカーボ

ンニュートラルの実現に向けて、地域企業へのヒアリングを踏まえた商品・サービスメニューの拡充を図るなか、SDGsや脱炭素化などへの取り組みを支援する「サステナブルファイナンス」を通じ、お取引先企業の持続的な成長に向けた挑戦を後押ししました。その取り組みが評価され、2022年2月に環境省が実施する「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の中間金融部門で銀賞（環境大臣賞）を受賞することもできました。

さらには、地域の未来を見据えた取り組みとして、地方銀行とのアライアンスや持株会社体制への移行準備も進めています。2022年4月には新たに名古屋銀行との包括業務提携「静岡・名古屋アライアンス」を締結しました。このアライアンスでは、デジタル化や脱炭素化などの不可逆的な変化が加速するなか、両行のノウハウや経営資源を相互に幅広く活用し、地域産業の構造変革に対する取引先支援を中心に据えながら、「静岡・山梨アライアンス」と同様、地域と両行グループ双方の持続的な成長の実現をめざします。

くわえて、10月に予定する持株会社体制への移行後には、各社の自立（自律）と連携によりグループ経営を一層進化させるとともに、地域の成長に貢献する新たな事業領域の拡大に力を

注ぎ、すべてのステークホルダー（地域、お客さま、株主、従業員）の価値の最大化をめざしてまいります。

社会経済環境が時々刻々と変化し、先行きの見通しが立たない時代を迎えるなか、お客さまの課題をすべての出発点として、その課題解決を本業としながら地域とともに持続的な成長を遂げていくことが、私たちの社会的な使命であると認識しています。その使命を果たすべく、本年度を「グループ人財育成リカレント元年」と位置づけ、職位に関わらず、全役職員が学び直しに積極的に取り組むことで、個々の知識・スキルを高めるとともに、多様性を組織の推進力に変えてまいります。そして、お客さまが課題に直面した際に、真っ先に相談いただける「課題解決型企業グループ」となるよう、グループの総力を結集して課題解決を一つひとつ積み重ね、お客さまの期待と信頼に応えてまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

頭取 柴田久

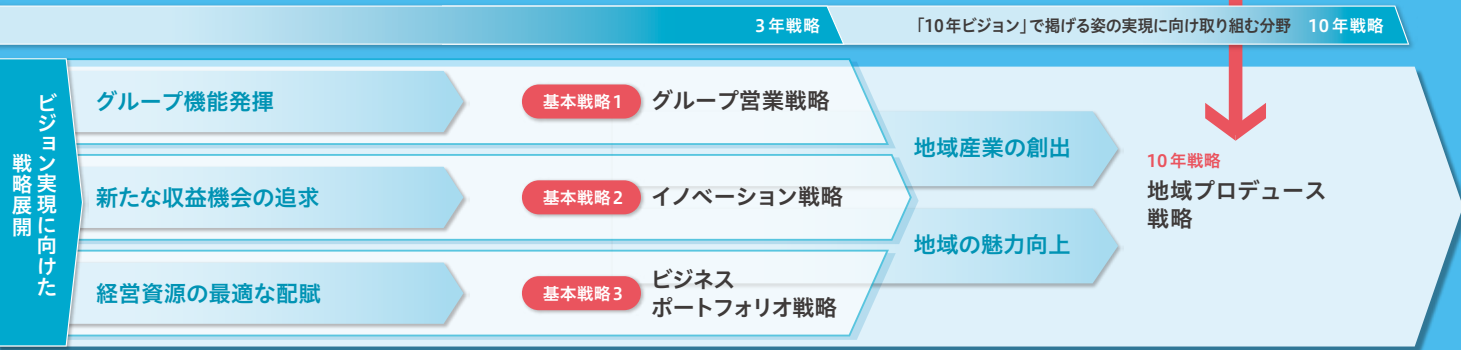
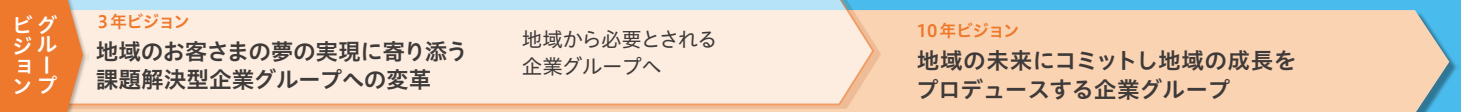
### Contents

- |               |                        |                    |
|---------------|------------------------|--------------------|
| 1 Top Message | 9 課題解決型<br>企業グループをめざして | 13 地域社会への貢献        |
| 3 第14次中期経営計画  | 11 営業のご報告              | 17 第116期<br>営業のご報告 |
| 5 Topics      | 12 Shizugin:ship       | 21 決算情報            |
| 7             |                        |                    |

# COLORS

～多彩～

基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、地域社会の豊かな未来の創造に向けて、静岡銀行グループが一体となって「課題解決型企業グループ」への変革に取り組んでいます。



## ■ 名古屋銀行と包括業務提携「静岡・名古屋アライアンス」を締結

2022年4月、両行の頭取が東京都内で記者会見を行い、包括業務提携の概要について説明を行いました。今後、互いの独立経営を堅持しつつ、それぞれの経営資源やノウハウをもち寄って協業やコスト削減等に取り組むことで、提携効果を高めていきます。

- 概要**
- 両県主要産業の取引先支援の強化
  - 両行の顧客ニーズのマッチングによる地域貢献や新たな収益機会の獲得
  - グループ会社機能など相互の経営リソースを活用したサービスメニューの拡充
  - 各種システムやバックオフィス業務の共同化によるコスト削減
  - トレーニー派遣や人材交流、研修の合同開催による人材育成 など



## ■ 「静岡・山梨アライアンス」の取り組み

第2弾となる生命保険商品の共同開発、ベンチャー企業に対するシンジケートローンの実行、商談会・各種セミナーの開催など、幅広い分野での連携事業に取り組んでいます。

### 2021年度下期のおもな協業事業

DX・イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済産業省の「ディーテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」を活用したシンジケートローンの実行</li> </ul>
地方創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方創生関連事業における協調融資第1号の実行</li> <li>● 『「バイ・ふじのくに」山梨物産市 in しずおか』への出店</li> <li>● 個別商談会の実施</li> <li>● 各種セミナーの実施</li> </ul>
ライフプラン戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アライアンス保険商品「プレミアハーベスト」の取扱開始</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通帳レス口座開設にともなう「富士山基金」への共同寄付の実施</li> <li>● 「Shizuginship」「山梨ちゅうぎん経営者クラブ」への相互参加</li> <li>● 災害時等対応車両の相互利用、共同防災訓練の実施</li> <li>● 内定者の交流会 など</li> </ul>



▲ 個別商談会



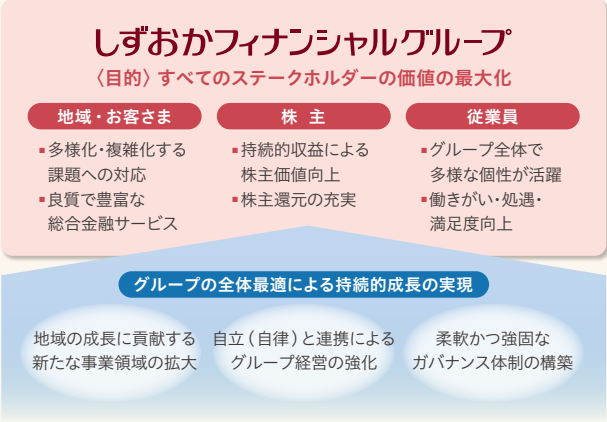
▲ 生命保険商品「プレミアハーベスト」

▲ 災害時等対応車両の相互利用

## ■ 持株会社体制への移行

2022年10月に「しずおかフィナンシャルグループ」を設立し、持株会社体制へ移行します。

名称には、静岡の地で創業し、多くの皆さまに育てられ成長できたことへの感謝や、静岡に本拠を構える企業であることへの誇りをもち続けるとともに、新たな事業領域の拡大を図りながらも、総合金融機能を提供する企業グループとしての姿は普遍であるとの想いを込めました。



## ■ 「産業変革支援プロジェクトチーム」を新設

2022年4月、地域産業の持続的な成長に貢献する事業支援体制の強化に向けて、企業サポート部内に「産業変革支援プロジェクトチーム」を設置しました。

- 概要**
- デジタル化や脱炭素化などによる地域の産業構造の変容を見据え、お取引先企業に対する課題解決支援体制を強化する
  - 一般財団法人静岡経済研究所のほか外部機関・企業とも連携しながら、プロジェクトの推進を図る
  - 次期中期経営計画における本格的な課題解決支援の推進に向けて、組織体制の拡充を検討する



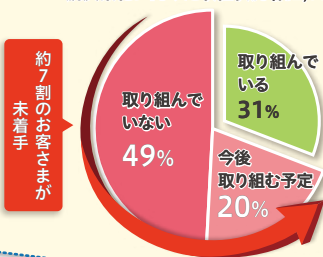
### サステナブルファイナンスへの取り組み

お客さまの脱炭素化への取り組みなど、持続可能な地域社会の実現に向けて、グループ体となってソリューションを提供しています。

#### ヒアリングの実施

お客さまが直面されている課題の解決を支援するため、脱炭素化に向けた取組状況などのヒアリングを実施しました。

脱炭素化に向けた取組状況(約2,600先)

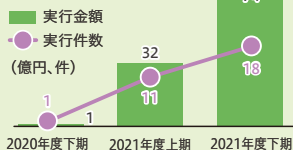


#### お客さまの声

- 着手方法がわからない
- 資金調達方法を知りたい
- 支援制度の内容を知りたい
- CO<sub>2</sub>排出量の算定方法がわからない

2021年度は、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に積極的なお客さまに対して、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)」の提供に取り組んだ結果、29件・約100億円の契約を締結しました。このほかにも、サステナビリティ・リンク・ローンの契約や「しずぎんSDGs私募債」の引き受けなど、お客さまのニーズに合わせたサステナブルファイナンスの提供に取り組んでいます。

#### ポジティブ・インパクト・ファイナンスの取組実績



#### ESGファイナンス・アワード・ジャパンで「銀賞」を受賞!

2022年2月、ESG(環境・社会・企業統治)を重視した投融资活動に取り組む企業などを表彰する「第3回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門で「銀賞(環境大臣賞)」を受賞しました。

### ベンチャービジネスへの取り組み

次代を担うベンチャー企業を支援するため、創業期、成長期などの事業フェーズに応じたサポートメニューの提供を通じて、新たなイノベーションの創出を図り、地域産業と経済の活性化に取り組んでいます。

#### (株) FABRIC TOKYO

2022年1月  
新株予約権付融資

【融 資 額】2億円  
【資金使途】事業資金

カスタムオーダーアパレルブランドを展開する「(株) FABRIC TOKYO」に、静岡銀行グループ初の「新株予約権付融資\*」を実行しました。

\*株式公開等をめざして積極的に成長投資を行う企業に対する融資に際し、新株予約権の割当を受けるもの

#### WHILL(株)

2022年3月  
シンジケートローン

【融 資 額】7億円(静岡銀行5億円、山梨中央銀行2億円)  
【資金使途】事業資金

経済産業省が創設した「ディープテックベンチャーへの民間融資に対する債務保証制度」を活用して、近距離モビリティの開発・展開を手がけるWHILL(株)に、山梨中央銀行とのシンジケートローン契約を締結しました。



### ライフプランコンサルティングへの取り組み

多様化するお客さまのニーズに機動的にお応えするため、従来のローンセンターの機能を拡充し、お客さまのライフプランコンサルティングに特化した拠点「しずぎんライフデザインステーション」を設置しました。また、東静岡・藤枝・富士・沼津・浜松の5つの店舗には、「ほけんの窓口@しずぎん」を併設し、お客さまのライフイベントにおけるさまざまなご相談に幅広くお応えしています。

「しずぎんライフデザインステーション」では、ローンや保険の担当者が、お客さまやご家族に関するさまざまなご相談にお応えしています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

しずぎん  
ライフデザインステーション沼津  
梅田 彩華



#### READYFOR(株)

2021年12月  
「遺贈寄付領域における協定」締結

相続関連サービスの強化を目的に、READYFOR(株)と「遺贈寄付領域における協定」を締結しました。静岡銀行では、「遺言信託業務」を通じて、遺贈寄付を希望されるお客さまに対して、同社の「遺贈寄付コンサルティング」を紹介するなど、お客さまの想いを確実な形として実現できるようサポートに取り組みます。なお、遺贈に関する協定の締結は、浜松市、浜松医科大学、日本赤十字社静岡県支部に次ぐ4例目で、民間企業とは初の取り組みとなりました。

寄付先(2022年4月末現在)

13分野(医療、子ども、環境、教育、障がい支援、国際協力、貧困、動物、子育て支援、災害支援、人権、LGBT、まちづくり)・78団体

### 静岡県内の金融機関と「継続的顧客管理」の取扱いを共通化

2022年4月、マネー・ローダリング(資金洗浄)等対策における継続的顧客管理の取り組みについて、静岡銀行が構築したプラットフォームを活用した取扱いの共通化を実施しました。



#### 継続的顧客管理とは

マネー・ローダリングやテロ資金供与の防止を目的に、ダイレクトメールの送付等により、顧客情報や口座の利用目的などに変更がないかを定期的に確認する取り組み

#### 共通化を実施した金融機関

静岡銀行・スルガ銀行・清水銀行・静岡中央銀行  
浜松いわた信用金庫・三島信用金庫

## TECH BEAT Shizuoka 2021を開催

2022年1月、静岡県内企業と首都圏のスタートアップ企業をつなぐ商談会「TECH BEAT Shizuoka 2021」をオンラインで開催。データサイエンスを専門とされる慶應義塾大学の宮田裕章教授、全国各地域活性化やまちづくりに取り組む面白法人カヤックの柳澤大輔社長による基調講演のほか、スタートアップ企業によるプレゼンテーション、県内自治体が地域の課題をプレゼンする「リバーズピッチ」など、県内産業の活性化や新たなビジネスの創出をめざして取り組みました。



【開催日】2022年1月25日、26日 【商談件数】約200件  
【参加スタートアップ企業】89社 【総視聴回数】5,406回  
【参加登録者数】1,987名

### TECH BEAT Shizuoka 2021 AWARD

2021年度に実施した「TECH BEAT Shizuoka」の商談のなかから優れた協業事例を表彰



#### 静岡県知事賞

(株)アイファーム×(株)スカイマティクス  
～ドローン画像の解析による「ブロッコリー収穫適期システム」の開発

#### 実行委員会委員長賞

伊豆川飼料(株)×(株)TeaRoom  
～伊豆川飼料が開発した有機飼料をベースに肥料の配合や散布方法を模索した付加価値の高いお茶づくりの実証実験の実施

## 第7回 地方創生全体会議を開催

2021年10月、静岡県内、山梨県内の首長や地方公共団体の地方創生担当者のほか、静岡銀行ならびに山梨中央銀行の役職員、商工会議所、静岡県内大学関係者など約600名がオンラインを通じて参加しました。脱炭素社会の実現に向けた取り組みや、新型コロナウイルスの収束を見据えた観光振興の事例など、地方創生に向けた情報を共有しました。

### 講演内容

講演1 Circular Initiatives & Partners 代表 安居昭博氏  
欧州サーキュラーエコノミー政策に探る、日本の可能性

講演2 山梨県笛吹市長 山下政樹氏  
アフターコロナに向けた観光戦略について

講演3 島田市長 染谷絹代氏  
カーボンニュートラルに向けての島田市の挑戦



## 静岡・山梨アライアンス ～両地域の活性化をめざして～

### ■個別商談会の開催

両行のお取引先をサプライヤーとする「個別商談会」を開催しています。互いの幅広いネットワークを活用してお取引先の販路拡大を支援するとともに、両県の特産品などの消費拡大に取り組んでいます。

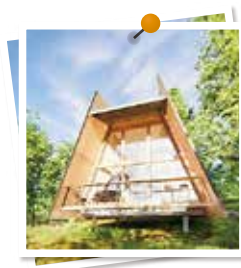


### 2021年度下期に開催した商談会

開催月	開催先	参加企業	商談件数
10月	(株)いちやまマート	29社	29件
11月	(株)杏林堂薬局	9社	9件
1月	(株)杏林堂薬局	17社	17件
2月	武田食品(株)	24社	24件
	NEXCO中日本 サービスエリア・パーキングエリアのテナント	32社	134件
3月	KADODE OOIGAWA	23社	23件

### ■地方創生関連事業として第1号の協調融資を実施

2021年12月、山梨県鳴沢村に建設する「共同別荘(キャビン)」7棟の建設資金として、(株)SANU Kawaguchiko 1stへの協調融資を行いました。本施設は、サブスクリプションサービス(定額制)の提供を通じた観光誘客や交流人口の増加、レストランやアクティビティの展開による地域の雇用創出につながる取り組みとして、地方創生にかかる協調融資第1号となりました。



【所在地】山梨県鳴沢村(富士箱根伊豆国立公園内)  
【建物】全棟独立したオリジナルキャビン(50m<sup>2</sup>)7棟  
【アクセス】中央自動車道「河口湖」インターチェンジより6.7キロ

### ■両県の相互誘客による観光交流促進をめざす「キャンペーン」を実施

「しずぎんjoyca」を山梨県内の対象施設で利用されたお客さま、「JiMOCA(山梨中銀DCカード含む)」を静岡県内の対象施設で利用された方を対象に、「DCハッピープレゼントポイント」の付与を5倍にするキャンペーンを実施しています。



【対象期間】3月16日～7月15日  
【対象施設】山梨県内 38施設/静岡県内 41施設(3月16日時点)

### ■静岡キャピタルが「中部STARTUP RUNWAY」プロジェクトに参画

2022年4月、中部エリア(静岡県・山梨県・愛知県・岐阜県・三重県)からのユニコーン企業\*の創出をめざす「中部STARTUP RUNWAY」がスタートし、静岡キャピタルが参画しています。本プロジェクトは、中部エリアの自治体、地域金融機関、ベンチャーキャピタルが連携して、事業のブラッシュアップや資金調達の相談を受けるなど、起業家の成長支援を提供するプラットフォームです。

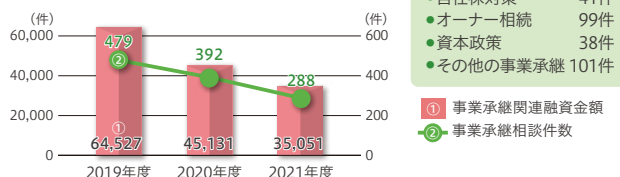
\*ユニコーン企業/非上場でありながら高い企業価値を有するベンチャー企業



## 経営サポート

お客さまが直面する経営課題の解決、新たな事業の創出など、静岡銀行グループがもつ機能やネットワークを活用し、地域企業の持続的な成長を支援しています。

### 取扱件数の推移



### 2021年度実績

- 資産有効活用 9件
- 自社株対策 41件
- オーナー相続 99件
- 資本政策 38件
- その他の事業承継 101件

## サポート事例 1

後継者不在という課題を抱えていた福祉関連事業を営むお客さま。お客さまのご意向を確認し、静岡銀行グループで提供できる解決策をご提案した結果、持株会社体制への移行をサポートさせていただくことになりました。現在は、さらに分社化に向けた支援に取り組んでいます。



法人ソリューション営業グループ  
松下 和馬

### さまざまな観点から中長期的な伴走支援！

営業店の担当者から「もしかしら後継者がいないかもしれない」と相談を受け、同行訪問したのがきっかけとなり、現在、事業承継に関するさまざまな支援を静岡銀行グループが担い、私はそれ以外の人材紹介や事業戦略に関する支援などをお手伝いさせてもらっています。

銀行員としてお客さまの課題解決に取り組むうえで大切にしているのは、私たちがやりたいことではなく、お客さまとの対話を通じて、真に必要なとされている支援を提供する

ことだと思っています。こうした意味では、静岡銀行グループには、お客さまのことをよく知りもっとも近い存在である営業店の担当者が、さらには、本部やグループ会社など豊富な経験や専門的な知識をもつ担当者がそろっていますので、さまざまな観点から中長期的な伴走支援が可能です。

これからも多くのお客さまと長いお付き合いをいただけるよう、私自身もスキルアップを図り、お客さまのお役に立てる情報の提供に努めていきたいと思っています。

### 長い時間軸で寄り添い、最適なタイミングでの支援を提供

最初に、松下さんからの相談を受けて、お客さまへの同行訪問を行いました。お客さまは、今後の事業戦略と将来の事業承継を見据えて、持株会社体制への移行を決断されました。さらに、県内に複数の事業所を抱えており、地域ごとに法人を分けることに優位性を感じられ、今は分社化に向けたさまざまな準備に取り組んでいるところです。

私は、事業承継支援にあたって、長い時間軸でお客さまと関わっていきたくて考えています。現在のように変化の激しい時代では、刻々と企業を取り巻く環境や状況は変わり、

経営課題も複雑化して経営者の悩みも尽きません。だからこそ、長い時間軸で寄り添い、その時々でのタイミングで最適なサポートを提供したいと考えています。そのためには、何よりも安心して相談いただける信頼関係の構築が大切となりますので、これからも日々努力を続けていきたいと思っています。

今後も、自身の専門知識と業務経験を生かしながら、より多くのお客さまの円滑な事業承継を実現させていきたいと思っておりますので、不安に感じたり、お困りのことがあれば、私たちにご相談ください。

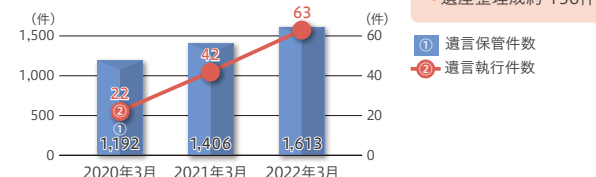


静岡銀行経営コンサルティング(株)  
土井 智之

## 相続サポート

静岡銀行グループの豊富な商品・サービスを通じて、お客さま一人ひとりのライフプランに応じた最適なご提案に努めています。

### 取扱件数の推移



### 2021年度実績

- 遺言信託成約 294件
- 遺産整理成約 156件

## サポート事例 2

複数の不動産を保有され、アパート経営をしながら農業にも従事されている70代のお客さま。今後のご夫婦の生活や、独立され県外にお住いのお子さまたちへの相続のことなどを考えなければという思いをもたれていました。現在、お客さまのご意向をもとに、グループが連携して相続に関するサポートに取り組んでいます。



沓谷支店  
柴田 紗紗子

### お客さまの気持ちに寄り添った多様なご提案を！

当初は、お子さまへの相続など具体的なことは何も決めていらっしゃらず、また、私たちが相続に関するサポートをしていることもご存じありませんでした。そこで、面談を重ねてゆっくりとお話をうかがい、お客さまの思いや考えを聞いていくうちに、ご自身があらためて現状を再確認され、「家族の将来を考えれば、遺言で思いを残しておくことは大切」とおっしゃっていただきました。そして、遺言信託を契約いただくとともに、保有されていた農地等の生産緑地指定を解除し、その一部の売却を仲介する先をご紹介したり、

相続対策として、土地売却資金をもとにした保険の非課税枠活用をご案内したりと、お客さまのご事情に合わせた最適な方法を相談しながら、さまざまなお手伝いをさせてもらっています。相続はだれしも経験するものですが、将来への漠然とした不安を感じていても具体的な対策を講じていない方も多くと思います。私たちは、顕在化している課題はもちろん、ご自身が気づかれていないニーズを引き出しながら、お客さまの気持ちに寄り添った多様なご提案を心がけています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

### 大切な資産を円滑に引き継ぐため、まずは「しずぎん」へ

まずは、柴田さんがお客さまからうかがった財産状況をもとに、相続の相談や保有財産の一覧を作成しました。こうした資料をお見せすることで、一目でわかりやすく現状を把握いただけますし、保有不動産の分割についての課題を明確にすることなどに役立ちます。

私が相続のサポートに携わる時、もっとも大切にしているのは、お客さまの思いに寄り添うことです。一般的に、遺言信託を契約いただく際は、少なくとも5回は面談の機会をいただいています。多くの時間をかけて向き合い、

お客さまの価値観やご家族への思いを聞かせていただきながら、その思いに応えるベストな提案を行う。こうしたことができてはじめてお客さまとの信頼関係が生まれるのだと思っています。

静岡銀行グループには、お客さまの大切な資産を円滑に引き継ぐため、遺言信託や遺産整理など、豊富な金融商品・サービスがあります。何かお困りごとがあれば、まずは「しずぎん」にご相談ください。お客さまのもっとも身近なパートナーとして、グループ一体となってサポートさせていただきます。



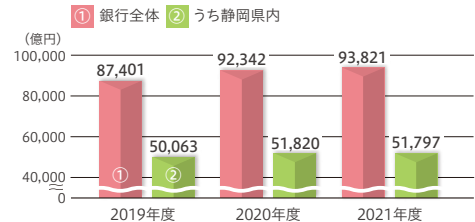
ライフプランサポートグループ  
澤口 廉

# 営業のご報告

## 貸出金

2021年度の貸出金の残高(平残)は、前期比1,479億円増加し、9兆3,821億円となりました。

### 貸出金残高(平残)の推移

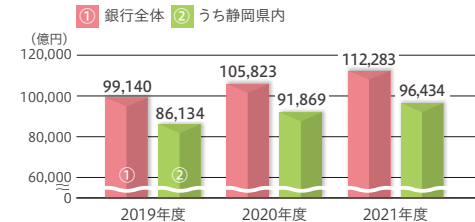


貸出金(平残)のうち静岡県内の割合 **55.2%**

## 預金

2021年度の預金残高(平残)は、前期比6,460億円増加し、11兆2,283億円となりました。

### 預金残高(平残)の推移

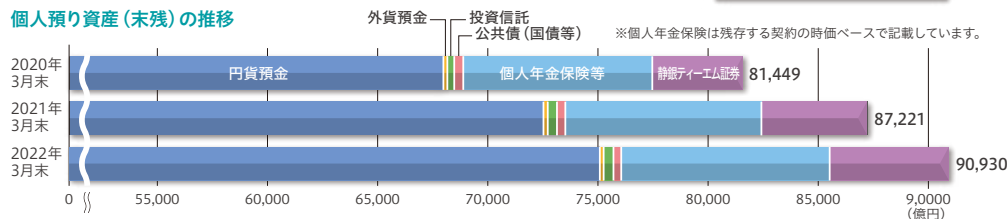


預金(平残)のうち静岡県内の割合 **85.8%**

## 個人預り資産

2022年3月末の静岡ティアム証券を含む個人預り資産の残高は、2021年3月末から3,709億円増加し、9兆9,930億円となりました。

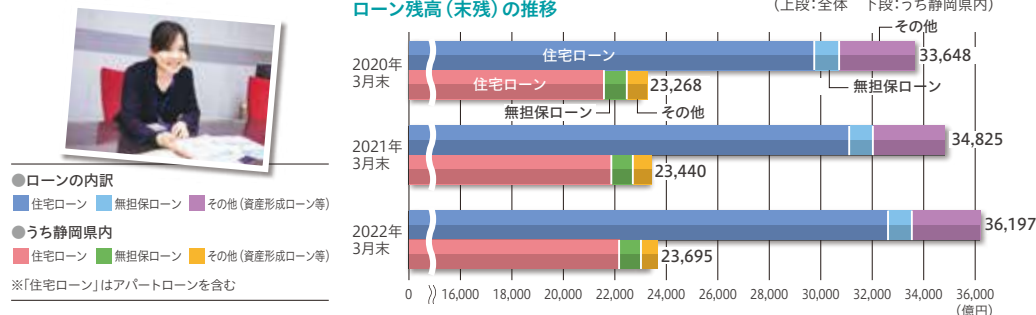
### 個人預り資産(末残)の推移



## ローン

2022年3月末の個人のお客さま向けローンの残高は、3兆6,197億円で、住宅ローンを中心に、2021年3月末より1,372億円増加しました。

### ローン残高(末残)の推移

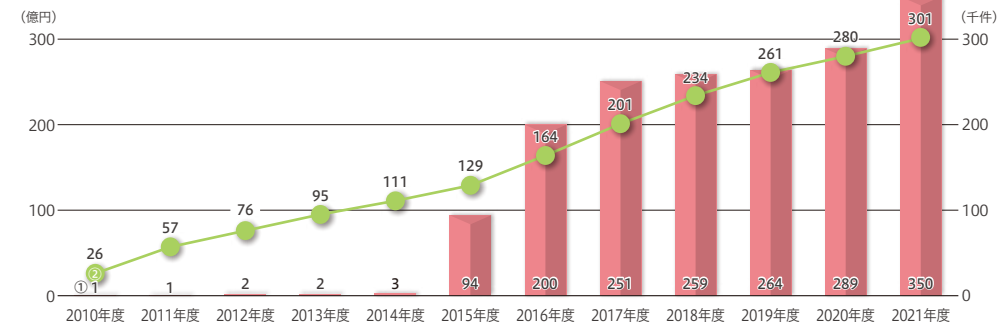


## インターネット支店

セブン銀行ATM手数料の無料化やカードローン「セレカ」の取り扱いなど、インターネット支店限定の商品・サービスを提供し、2022年3月末の口座数は30万口座を超え、総預金残高4,415億円、総貸出金残高350億円となりました。また、2022年1月からは、従来の電話照会窓口に加えて、ホームページに掲載した「よくあるご質問」や「バーチャル行員に質問」をご利用いただくことで、24時間いつでも問い合わせにお応えできるようになりました。



### インターネット支店の総貸出金残高(末残)・口座数推移



## 次世代経営者塾 Shizugin:ship ~経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所

2021年度活動実績 参加人数のべ **1,636名** 会員数 **702社 1,037名** (2022年3月末現在)

内容	開催実績
フォーラム	1回
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	24回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	15講座28回
〈特別企画〉アオハルし放題(高校生とのコラボ企画)	1講座4回

### セミナー 目標を持って生きること

【開催日】2022年3月12日  
【講師】アルビニスト、了徳寺大学客員教授 野口 健氏



### 参加者の声

- 周囲に流されない自分の判断基準の大切さを教えられた
- 極限の体験を通じた死生観のような話に圧倒された
- さまざまな実体験をもとにした飾らない内容で、かつユーモアたっぷりなお話だったので、野口さんの世界観に引き込まれた

### 全体フォーラム アフターコロナを生き抜く新事業創出のヒント ~イノベーションエコシステムの展望~

【開催日】2022年2月24日  
【講師】スタンフォード大学循環器科主任研究員 池野 文昭氏  
【活動実績報告】静岡魅力探求プログラム「アオハルし放題」ほか



### 参加者の声

- 年齢に関係なく、新しいことに挑戦することの重要性を再認識できた
- 海外から見た日本の現状や課題が理解でき、今後進むべき道を示唆してもらうことができた
- 地元の高校生が地域の課題に向き合い、精力的に活動する姿に刺激を受けた



# 地域社会への貢献

## 文化・スポーツの振興



### しずぎんユーフォニア・コンサート

国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。



第72回 木村 弓・中川敏郎 (2022年3月 静岡市)

### 富士山静岡交響楽団

オフィシャルパートナーとして、静岡県を代表するオーケストラの活動を支援しています。



静岡銀行 presents「クラシック・ポップスコンサート」(2022年5月 静岡市)

### しずぎんカップ

#### 少年サッカー

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU11サッカー大会」、全国各地から小学生が清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。



### ライトアップコンサート「威風堂々」

2001年から、浜松営業部本館のライトアップとともに、営業室内でのコンサート「威風堂々」を開催しています。



浜松聖星高校吹奏楽 (2021年12月)

### しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第26回 瀧川鯉昇・瀧川鯉斗 (2022年1月 沼津市)

#### 少年野球

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。



## 金融経済教育への取り組み



### 金融講座

常葉大学と静岡産業大学で「金融講座」を開講し、静岡銀行グループの従業員が講師となって地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説しています。

これまでに約2,800名の大学生が受講しています。



#### 受講学生の声

- ◆銀行はお金の貸し借りの業務を通じて地域貢献をしているイメージだったが、商談会の開催や人材交流など、多岐にわたる業務に取り組んでいることを知れた
- ◆業務の定義や概要だけではなく、現場で起きたエピソードなど実体験を聞くことができ、より興味と理解が深まった

### 「高校生海外インターンシップ」に協力

2022年3月、静岡県教育委員会がグローバル人材の育成を目的に実施する「高校生海外インターンシップ」に協力しました。

県内から26校・53名の高校生が参加し、オンラインを通じて国際営業部や香港支店の従業員と交流を図りました。



### 「エコノミクス甲子園」静岡大会

高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」静岡大会を開催。11回目を迎えた2021年度は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン形式で開催しました。

県内の高校から25チーム・50名が参加し、浜松学芸高校の「メタモン」チームが3年連続の優勝となり、全国大会に出場しました。



### 静岡魅力探究プログラム「アオハルし放題」

次世代経営者塾「Shizuginship」が、地域人財育成および交流の深化に向けた取り組みの一環として、静岡県内の高校生を対象に静岡魅力探究プログラム「アオハルし放題」を開催。

高校生と Shizuginship 会員がチームを組み、静岡の「食」と「まちづくり」をテーマに魅力あふれる企画作りに挑戦しました。



参加高校	13校・58名
参加企業	4社・17名
最優秀賞	<p>〈食〉 韮山高校「にらーじょ」 ～地産地消のエンカルスイーツ</p> <p>〈まちづくり〉 富岳館高校「山ノ村ノ民」 ～静岡の魅力を表現した図書館創設</p>





## 環境への取り組み

～豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐために

地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実践に向けて、地域の環境保全に取り組んでいます。



### サステナブルファイナンスの推進

事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組む地域企業を積極的に支援する「サステナブルファイナンス」の推進に取り組んでいます。2021年度は、サステナブルファイナンス実行額は、1,133億円（うち環境ファイナンス547億円）となりました。

**サステナブルファイナンスとは**  
 持続可能な社会の実現に向けたお客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みを支援する資金供給

目標（2030年度までの累計実行額）  
**2兆円（うち環境ファイナンス1兆円）**

2021年度目標  
**1,000億円（うち環境ファイナンス500億円）**  
**取組実績：1,133億円（547億円）**

### 公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」

1993年の設立以来、静岡県内で環境保全に取り組む団体や個人のべ665先に対して、総額8,420万円の活動資金を助成しています。2021年度は、21先に対して合計300万円を助成し、さまざまな活動に役立てていただきました。



### 「小さな親切」運動

かけがえのない郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静銀総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、里山づくりやクリーン作戦などの環境保全活動に取り組んでいます。



「小さな親切」静岡県本部は、農林水産省が実施する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」のオフィシャルサポーターに認定されました



南伊豆町有林の植樹活動

「ディスクオーバーパーク焼津」周辺の清掃活動

### 「しずぎんECO口座」開設にともなう寄付

紙の通帳を発行しない「Web総合口座」と、インターネット支店専用口座「Webwallet」の2商品を経済口座として推進しています。2021年度は、「静岡・山梨アライアンス」の取り組みの一環として、両行における通帳レス口座の開設件数に応じた紙の削減費用の一部を「富士山基金」に共同で寄付しました。

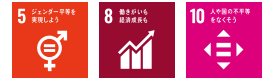
#### 共同寄付金額

2021年度上期	2021年度下期
927,950円	1,479,900円

## だれもがイキイキと働ける職場づくり

～役職員一人ひとりの満足度の向上をめざして

多様な価値観をもつ役職員一人ひとりが、それぞれのライフステージに合わせた働き方を実現するとともに、チャレンジできる職場づくりに取り組んでいます。



### ダイバーシティ&インクルージョン推進への取り組み

#### ■人財の多様化に向けた取り組み

高卒採用・キャリア採用・スポーツ&アート採用など、採用チャネルの多様化に取り組んでいます。また、「副業・兼業制度」を積極的に活用し、役職員が金融分野以外の知見・経験を得ることで、組織として多様な意見の創出をめざしています。



「副業・兼業制度」を活用し、丸紅(株)で働く浜松営業部・林 健太(左)



「ふじのくに」家庭教育支援推進企業教育長表彰 受賞 (2022年3月)

#### ■ダイバーシティ推進委員会の取り組み

ダイバーシティ&インクルージョンな風土の醸成に向け、ダイバーシティ推進委員会が中心となってさまざまな取り組みを実施しています。

- セミナー・座談会の実施（職場・職務を越えたネットワークの構築）
- E-ラーニング「にじいろスタディ」の実施（ダイバーシティ&インクルージョン、アンコンシャス・バイアスに対する理解の促進）
- 各部店におけるダイバーシティ推進責任者「ally」の設置（ワーキングマザーの両立支援、男性の育児休業取得促進など、多様性を力にする職場づくりを推進）

#### ■性差にとらわれない育児参画への取り組み

育児介護休業法の改正を踏まえ、だれもが家庭やキャリアを大切にしながら働けるよう「育パパ宣言特別休暇」や「ダイバーシティ休職制度」など、各種制度の新設・拡充を図りました。男性の育児休業取得率100%以上かつ平均取得期間5日以上を目標に掲げ取り組んだ結果、2021年度は「男性育休100%」を達成しています。

男性の育児休業取得状況	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
取得率	62.9%	63.6%	64.7%	100%
平均取得期間	1.9日	5.2日	2.8日	7.6日



### 人財育成への取り組み

多様化・高度化するお客さまのニーズに、より高いレベルでお応えするビジネスモデルへの変革をめざして、2021年度に約20年ぶりに人事制度を改定しました。また、役職員が自身の夢とキャリアの希望を策定する「マイキャリアデザインシート」の対象者を管理職まで拡大し、キャリア自律支援とリーダーの意識改革に取り組むことで、「自ら考え行動し、多様な意見を認め合いながら挑戦し続けることができる人財集団」の構築をめざしています。

# 第116期 営業のご報告

基本理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。

## 静岡銀行の概要

2022年3月31日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	9兆5,337億円
預金	11兆4,165億円
総資産	14兆8,279億円
連結自己資本比率	16.08% うちCET1(普通株式等Tier1)比率 16.08%
従業員	2,810人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	206店舗 静岡県内 171(本支店152・出張所19) 静岡県外 32(支店26・出張所6) 海外 3(支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

## 邦銀トップ水準の格付

2022年3月31日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。

	長期格付
ムーディーズ	A1
スタンダード&プアーズ	A-
格付投資情報センター	AA-

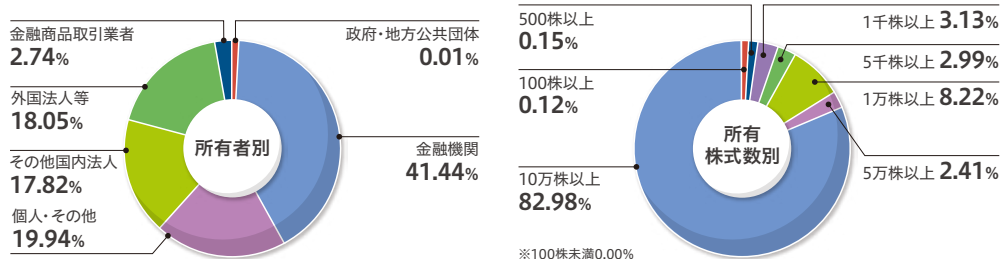
## 株式情報

2022年3月31日現在

### 株式の状況

株主数	22,304名 (2021年9月末比664名増)	発行済株式の総数	595,129,069株
		保有自己株式数	30,980,975株

### 株式の分布状況(単元未満株式を含む)

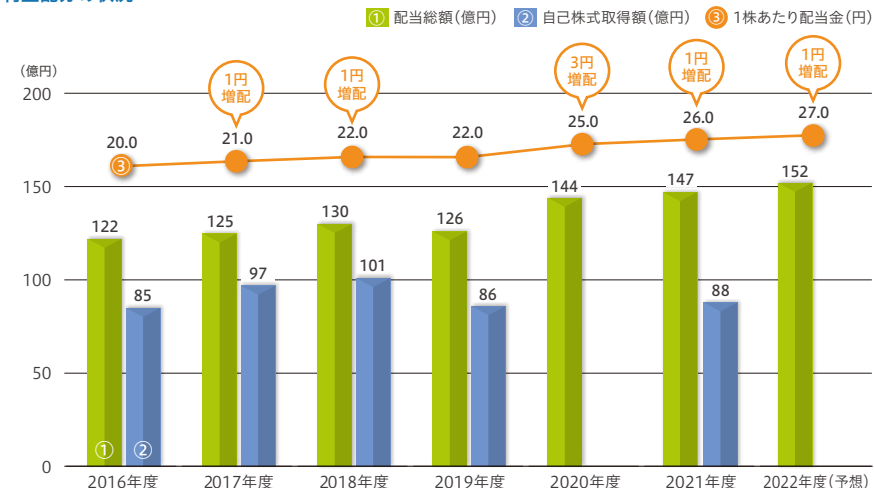


## 株主還元状況

DATA.01

- 第14次中期経営計画(2020~2022年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%以上(連結ベース)」に則り、2021年度の1株当たり配当金(年間)は、公表比+1円の26円とする予定です。
- 2022年度の1株当たり配当金(年間)は、2021年度配当金から1円増配し27円を予定しています。

### 株主への利益配分の状況



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(予想)
配当性向	41.5%	24.9%	27.6%	32.6%	32.8%	35.4%	28.2%
総還元性向	70.6%	44.3%	49.1%	54.9%	32.8%	56.2%	28.2%
親会社株主利益	293億円	501億円	469億円	387億円	436億円	416億円	540億円

## 健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

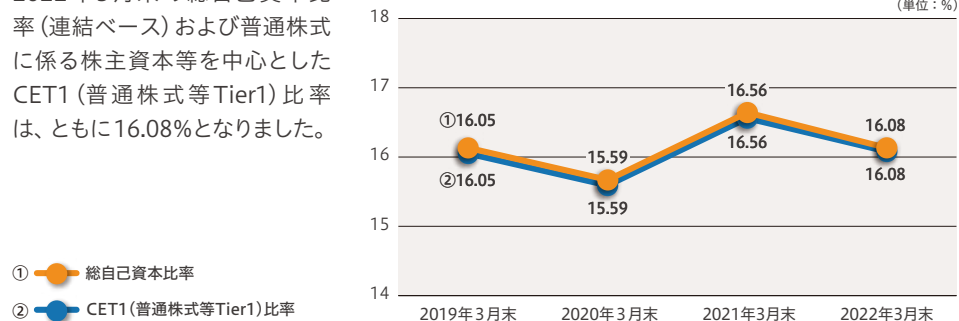
DATA.02

自己資本比率<国際統一基準>は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2022年3月末の総自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心としたCET1(普通株式等Tier1)比率は、ともに16.08%となりました。

### 総自己資本比率(連結ベース)

(単位: %)

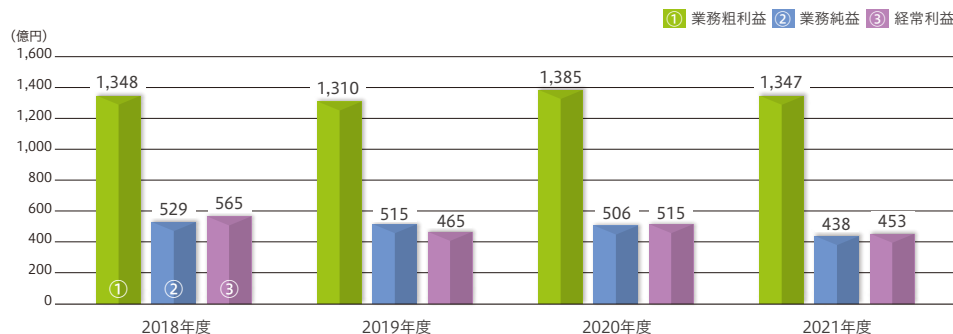




業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2021年度の業務粗利益は、資金利益が増加したものの国債等債券関係損益の減少などにより減益となりました。業務純益は、次世代システム稼動にともなう経費の増加などにより減益。経常利益は、不良債権処理額の減少により臨時損益が増加したものの、業務純益の減少を主因に減益となりました。



主な経営指標(単体ベース)

(単位: %)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	前年度比
ROE(当期純利益)	4.50	3.54	3.62	3.55	△0.07
ROA(当期純利益)	0.38	0.28	0.27	0.25	△0.02
OHR(経費/業務粗利益)	60.00	60.38	60.96	65.52	4.56
1株当たり当期純利益(円)	72.14	58.05	61.82	63.57	1.75

(注)1.前年度比は、表上で算出しています。  
2.ROE(当期純利益)は決算短信ベースにて算出しています。  
3.2021年度の連結ベースROE(当期純利益・決算短信ベース)は3.80%です。

**ROE**  
[Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

**ROA**  
[Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

**OHR**  
[Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

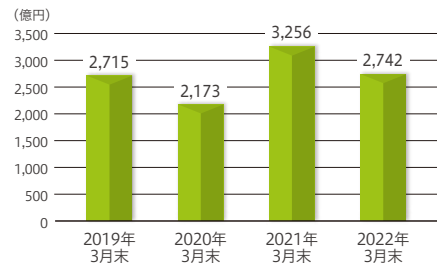
有価証券評価損益の状況

DATA.04

2022年3月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+2,742億円と2021年3月末に比べ514億円減少、うち株式評価損益は+2,880億円と2021年3月末に比べ333億円減少しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

有価証券評価損益(単体ベース)



日経平均株価

2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
21,205.81円	18,917.01円	29,178.80円	27,821.43円

リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権(金融再生法開示債権※)の状況(単体ベース)

2022年3月末のリスク管理債権の総額は984億円、総与信残高に占める割合は1.01%と低水準を維持しています。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保率は83.59%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額62億円、信用保証協会の保証付貸出金368億円、担保・引当金等394億円を控除した実質的なリスク管理債権は161億円で、総与信残高に占める割合は0.16%です。

※「銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令」が2022年3月31日から施行されたこととともない、銀行法の「リスク管理債権」の区分等を、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律にもとづく開示債権の区分等に合わせた表示をしています。

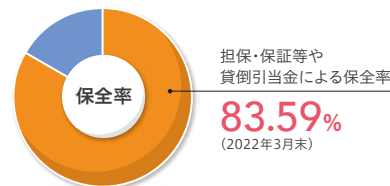


(注)1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2.( )内は総与信残高に占める割合を示しています。

リスク管理債権の内訳

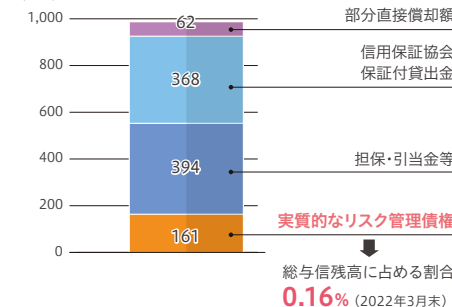
(百万円)

破産更生債権およびこれらに準ずる債権	15,408 (0.15%)
危険債権	68,885 (0.70%)
3カ月以上延滞債権	353 (0.00%)
貸出条件緩和債権	13,777 (0.14%)



実質的なリスク管理債権

(億円)

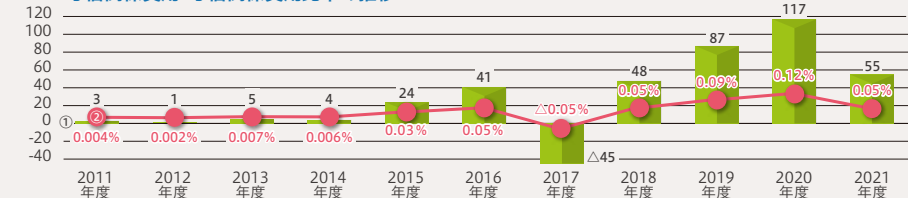


与信関係費用の状況(単体ベース)

2021年度の与信関係費用は55億円、与信関係費用比率は0.05%となりました。

① 与信関係費用  
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益  
② 与信関係費用比率  
= 与信関係費用 / 貸出金平残

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



# 決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位: 百万円)

## 貸借対照表(連結)

科目	2021年度末	科目	2021年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	2,275,851	預金	11,399,949
コールローン及び買入手形	71,382	譲渡性預金	157,266
買入金銭債権	38,352	コールマネー及び売渡手形	177,528
特定取引資産	14,756	売現先勘定	296,764
金銭の信託	104,800	債券貸借取引受入担保金	72,701
有価証券	2,337,933	特定取引負債	3,329
貸出金	9,502,197	借入金	1,364,889
外国為替	11,176	外国為替	2,402
リース債権及びリース投資資産	82,847	社債	37,118
その他資産	333,157	新株予約権付社債	36,717
有形固定資産	54,790	信託勘定借	198
無形固定資産	46,574	その他負債	130,214
退職給付に係る資産	14,309	退職給付に係る負債	3,768
繰延税金資産	3,283	役員退職慰労引当金	383
支払承諾見返	80,241	睡眠預金払戻損失引当金	845
貸倒引当金	△53,382	偶発損失引当金	1,255
投資損失引当金	△44	ポイント引当金	417
		特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	63,976
		支払承諾	80,241
		<b>負債の部合計</b>	<b>13,829,979</b>
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	769,036
		自己株式	△29,030
		<b>株主資本合計</b>	<b>885,735</b>
		その他有価証券評価差額金	193,717
		繰延ヘッジ損益	223
		為替換算調整勘定	4,226
		退職給付に係る調整累計額	2,637
		<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>200,804</b>
		新株予約権	318
		非支配株主持分	1,388
		<b>純資産の部合計</b>	<b>1,088,247</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>14,918,227</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>14,918,227</b>

## 損益計算書(連結)

科目	2021年度
経常収益	241,600
資金運用収益	128,187
(うち貸出金利息)	97,916
(うち有価証券利息配当金)	27,532
信託報酬	2
役務取引等収益	72,852
特定取引収益	3,451
その他業務収益	23,153
その他経常収益	13,952
<b>経常費用</b>	<b>187,381</b>
資金調達費用	5,963
(うち預金利息)	2,062
役務取引等費用	41,594
その他業務費用	28,659
営業経費	97,629
その他経常費用	13,534
<b>経常利益</b>	<b>54,219</b>
特別利益	6,078
特別損失	1,496
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>58,801</b>
法人税、住民税及び事業税	15,730
法人税等調整額	1,347
<b>法人税等合計</b>	<b>17,078</b>
当期純利益	41,722
非支配株主に帰属する当期純利益	87
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>41,635</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 貸借対照表(単体)

科目	2021年度末	科目	2021年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	2,252,120	預金	11,416,559
コールローン	71,382	譲渡性預金	166,066
買入金銭債権	38,352	コールマネー	177,528
特定取引資産	14,256	売現先勘定	296,764
金銭の信託	104,800	債券貸借取引受入担保金	72,701
有価証券	2,316,984	特定取引負債	3,331
貸出金	9,533,758	借入金	1,330,522
外国為替	10,278	外国為替	2,406
その他資産	300,629	社債	37,118
有形固定資産	51,005	新株予約権付社債	36,717
無形固定資産	47,176	信託勘定借	198
前払年金費用	10,921	その他負債	91,809
支払承諾見返	123,845	退職給付引当金	2,408
貸倒引当金	△47,481	役員退職慰労引当金	254
投資損失引当金	△44	睡眠預金払戻損失引当金	845
		偶発損失引当金	1,255
		ポイント引当金	372
		繰延税金負債	62,168
		支払承諾	123,845
		<b>負債の部合計</b>	<b>13,822,873</b>
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	693,539
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	602,693
		自己株式	△29,030
		<b>株主資本合計</b>	<b>810,238</b>
		その他有価証券評価差額金	194,366
		繰延ヘッジ損益	189
		<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>194,555</b>
		新株予約権	318
		<b>純資産の部合計</b>	<b>1,005,112</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>14,827,985</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>14,827,985</b>

## 損益計算書(単体)

科目	2021年度
経常収益	192,502
資金運用収益	130,463
(うち貸出金利息)	97,979
(うち有価証券利息配当金)	29,742
信託報酬	2
役務取引等収益	30,860
特定取引収益	869
その他業務収益	23,145
その他経常収益	7,160
<b>経常費用</b>	<b>147,219</b>
資金調達費用	6,009
(うち預金利息)	2,096
役務取引等費用	16,025
その他業務費用	28,659
営業経費	88,490
その他経常費用	8,034
<b>経常利益</b>	<b>45,282</b>
特別利益	6,009
特別損失	1,495
<b>税引前当期純利益</b>	<b>49,796</b>
法人税、住民税及び事業税	12,486
法人税等調整額	1,189
<b>法人税等合計</b>	<b>13,675</b>
<b>当期純利益</b>	<b>36,120</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<https://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>

## 連結子会社(13社)

- 静岡経営コンサルティング(株)  
経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静岡リース(株)  
リース業務
- 静岡ITソリューション(株)  
コンピューター関連業務/計算受託業務

- 静岡信用保証(株)  
信用保証業務
- 静岡ディーシーカード(株)  
クレジットカード業務/信用保証業務
- 静岡ITキャピタル(株)  
株式公開支援業務/中小企業再生支援業務

- 静岡ディーエム証券(株)  
金融商品取引業務
- 静岡総合サービス(株)  
人事・総務・財務関連業務  
有料職業紹介業務

- 静岡モーゲージサービス(株)  
銀行担保不動産の評価・調査業務  
貸出に関する集中事務業務
- 静岡ビジネスクリエイト(株)  
為替送信・代金取立等の集中処理業務  
労働者派遣業務

- 欧州静岡銀行  
銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited  
金銭債権の取得

- しずぎんハートフル(株)  
各種文書の作成・印刷・製本業務

## 持分法適用関連会社(3社)

- 静岡セゾンカード(株)  
クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株)  
金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンズ投信(株)  
投資運用業務/投資信託販売業務

※2022年3月31日現在



# 静岡銀行グループが一体となって 多彩な金融ソリューションを提供します。

## 経営コンサルティング業務

### 静岡経営コンサルティング

M&A、事業承継、経営相談、経営改善計画など、企業経営に関する幅広いコンサルティングニーズにお応えします。

## IT関連業務

### 静岡ITソリューション

静岡銀行グループ各社のIT戦略の実現を支援するとともに、地域のお客さまへのITソリューションを提供していきます。

## リース業務

### 静岡リース

さまざまな用途の機械・器具・設備や、建機、自動車のリースなど、お客さまの設備導入ニーズにお応えします。

## 金融商品取引業務

### 静岡ディーエム証券

投資信託やファンドラップ、債券、株式など幅広い商品ラインアップにより、多様化・高度化するお客さまの資産運用ニーズにお応えします。

## ベンチャー支援

### 静岡キャピタル

ベンチャー投資や事業承継、再生支援など、さまざまなファンドを活用して、地域の中小企業の支援に取り組んでいます。

## クレジットカード業務

### 静岡ディーシーカード

カード会員・加盟店に各種クレジット機能を提供し、利用者の利便性向上と地域の消費活動の活性化に取り組んでいます。

## クレジットカード業務

### 静岡セゾンカード

静岡での暮らしをサポートする「ALL-Sカード」など、地域の事業者と生活者をつなぐサービスを提供しています。

## 金融商品取引業務

### マネックスグループ

お客さまのライフスタイルを豊かにする未来志向のオンライン金融サービスを提供しています。

## 金融商品取引業務

### コモンズ投信

お客さまの資産形成を長期的に支援するため、投資信託などの商品・サービスを提供しています。

## 経営コンサルティング業務

### ターンザタイト

企業の決算書健全化に関するサービス等を提供し、キャッシュフロー改善や円滑な事業承継の実現を支援する社内ベンチャー企業です。

※お客さまに直接サービスを提供する会社を記載しています。



この印刷物には、環境に配慮した  
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した「カラーユニバーサルデザインのための指針」を参考に編集しています。



# 静岡銀行

SHIZUOKA BANK

<https://www.shizuokabank.co.jp/>